

## 第1回 スマートシティ伊勢推進構想策定委員会 議事概要

- 1 日 時 令和5年7月18日(火) 18時00分～19時45分
- 2 場 所 伊勢市役所 本庁舎 東館5階 5-3 会議室
- 3 出席者 別紙座席表のとおり
- 4 協議事項 下記のとおり

### ○ 自己紹介

委員:大学の課題に生成 AI を使う学生が出てきているのが悩み。

委員:医師会理事会でもペーパーレスに取り組んでおり、LINE WORKS を活用して連絡を取り合っている。マイナ保険証にはいろいろと問題も生じているが、デジタル化の流れそのものは止めようがないようだろう。

委員:申込やチケット販売をオンライン化している。

### ○ 資料1について

委員:好評意見の数が分かると、説得力が増す。

委員:利用件数が多いキャッシュレス決済を教えてほしい。

事務局:全体的には、PayPay、d払い、WAON が多い。クレジットカードでは、VISA、MasterCard が多い。

委員:決済手数料率を低くするために何か工夫しているのか。

事務局:プロポーザルで業者を選定したが、採点項目に決済手数料率を加え、なるべく安い業者から導入できるようにした。

委員:手数料率は市が負担しているのか。

事務局:市が負担している。

委員:ライスセンターの申込をオンライン化しているが、利用率が10%程度。利用率を上げる工夫があれば教えてほしい。

事務局:オンライン申請ができること自体知らない人が多いので、周知に努めた。そのほか、若年層をターゲットとした手続きのオンライン化を進めたり、高齢者でも分かりやすいフォームづくりを心掛けたりしている。

### ○ 資料2・3について

委員:4年間のどこかで構想の見直しは入るのか。

事務局:デジタル技術の進歩に合わせて細かいアップデートを行う可能性はあるが、本筋は今回作成する構想で4年間進めることになる。

委員:構想を見直すことになった際は、今回のように委員会を設置するのか。

事務局:軽微な見直しは事務側で行うが、大幅な見直しが入る際は、委員会を開いて意見を聞く可能性がある。

委員:オンラインアンケートやワークショップには、スマートシティに肯定的な人が集

まってきて、反対意見を聞くことができないという可能性があるが、対策を教  
えてほしい。

事務局:アンケート、ワークショップ共に広く市民の方が募集できるようにする。あ  
と、パブリックコメントで反対意見を拾っていきたい。

委員:パブリックコメントに反対意見は集まってくるのか。

事務局:これまで実施したパブリックコメントでは、賛成・反対共に意見が集まった。

委員:パブリックコメント実施後の委員会は1回で足りるのか。

事務局:いただいた意見の中で議論が必要なものがあれば、追加で委員会を開催  
する可能性がある。

委員:デジタルに疎い方からも意見を集めるため、紙でもアンケートを実施するの  
はどうか。

事務局:可能な限りそのような方からも意見を聞けるよう、実施方法を検討したい。

委員:パブリックコメントは実名投稿か。

事務局:投稿は実名だが、公開する際は匿名。

委員:世帯構成や性別、年齢、スマホの有無などで偏りがでないよう、幅広い属性  
の方に意見を聞いてほしい。

委員:アンケートの内容を教えてください。

事務局:アンケートの内容は検討中。2回目に内容を示したい。

#### ○ 資料4 について・意見交換

委員:4年間周知に徹底するのも良い。パブリックコメントもデジタルに関心がある  
人からの意見だけで良いのでは。

委員:資料4の3Pの図について、何と何がつながっているかが分かるようにして  
ほしい。

委員:紙の回覧板をデジタル化してほしい。市からおすすめのサービスを紹介する  
のはどうか。

委員:資料4の3Pの図について、デジタル技術を活用するものとそうでないもの  
が混在している。デジタルとアナログをどうつなげていくかの説明があると良  
い。

委員:近鉄みたいに、バスの運行状況が一目で分かるようになるとよい。

委員:経済的な理由により、端末を持たない人に対する支援があるとよい。

事務局:他自治体で端末所持に関する支援を行っているところがあるが、特殊なケ  
ースのようで、モデルとするのは難しい。

委員:いくらデジタル化のメリットを説明しても、最後はお金の話になる。ただ、農協  
は協同組合のため、特定の個人に補助金を出すのは難しい。

委員:子どもの簡単な言葉で、高齢者にスマホの使い方を教えるのはどうか。

委員:会議のテーマ的に、若い人も参加できるようにすると良いのでは。

委員:ワークショップを市内の高校で実施し、大学が参加するもの良い。スマートシティの恩恵を大きく受けるのは若い世代であり、その世代が望まないものを作っても意味がない。

委員:4年後のめざす姿の、具体的な情報があると良い。

委員:伊勢市にEVの急速充電器はどのくらいあるのか。急速充電器を多く設置すれば、EVの利用者も増えるのでは。

事務局:庁舎駐車場に急速充電器を設置しているが、市全体の状況は担当課で把握しているか確認する。

事務局:技術の進歩とまちの進歩の速さはそこまで変わらない。どれだけ素晴らしい取組をしても、相手にそれが伝わらなければ意味がない。4年後に目指す姿は、最先端を予測するのではなくて、底辺を底上げする方向に動くことよいのでは。

委員:後継者を求める経営者と後継者になりたい個人をつなぐサービスがあるとよい。

委員:つながる仕組みがデジタルで出来ると良い。

委員:LINEで来る広報が見にくい。もっと見やすくなると良い。何か方法があると良い。

#### ○ 事務局からの連絡事項

・第2回の委員会は8月中下旬に開催したい。日程調整のエクセルを第1回の資料と一緒に送付しているので、デジタル政策課宛てに返送してほしい。

・今回頂いたご意見をもとに、構想案を検討する。